

## 令和2年度 事業報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、国内においても感染が拡大し社会・経済に大きなダメージを与えました。共同募金運動においても積極的な募金活動・広報啓発活動が制限され、厳しい感染対策の下で郵送や訪問による募金活動を中心に実施することとなりました。この結果、街頭募金やイベント募金は前年度より減額となりましたが、その他募金(インターネット募金等)については増額となる等、新たな生活様式に沿った募金の形につながることができました。

令和2年度の共同募金運動の募金実績は、一般募金が453,347,927円(達成率91.4%)、地域歳末募金が122,547,957円(達成率93.7%)、NHK歳末募金19,058,711円(達成率112.1%)でした。NHK歳末たすけあい募金では、実績額が目標額及び前年度実績をいずれも上回っており、NHKウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」の啓発力が発揮された結果となりました。

また、中央共同募金会と都道府県共同募金会が合同で実施した全国キャンペーンでは、「つながりをたやさない社会づくり」をテーマとして、子どもと家族の緊急支援活動応援成事業を実施し、子ども食堂等を実施している団体の活動や児童養護施設等の感染予防対策に対して3回にわたる助成を実施し、県内で総額702万円の助成を行うことができました。

なお、一般募金の配分金は、県内の社会福祉協議会、社会福祉施設、社会福祉関係団体及び県域・広域で活動を行う社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO等の令和3年度の事業費として配分し地域福祉の推進に役立てるとともに、災害等準備金として積み立て、大規模災害発生時に設置する災害ボランティアセンターの運営費やボランティア活動を支援するための支援金として活用します。

令和2年度は「ひょうご共同募金運動推進2020年計画」(2016~2020)の最終年度となり、次の5年間の活動へ向けて検討会議を開催し、令和3年度から取り組む「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」(2021~2025)を策定しました。本計画では、配分・広報・募金・組織の4つの要素に「新時代における対応方針」を加えた「5つの強化方針」を提起し、今後は本計画に沿って地域の課題解決に向けた募金活動に取り組むこととなります。

兵庫県共同募金会としては、共同募金運動が「じぶんの町を良くするしくみ」として地域に定着できるよう、今後も募金・広報活動及び組織を強化し、社会福祉協議会とともに地域福祉活動への協力者・参加者をさらに増やし、地域課題の解決のためのさらなる効果的な配分を目指し、市区町共同募金委員会や関係団体とともに共同募金運動の活性化を図ります。

## 1. 共同募金運動の積極的展開

「ひょうご共同募金運動推進2020年計画」に基づき中期的な視野に立った基本方針に沿って、課題解決に向けた取組みを推進しました。また、地域福祉財源の十分な確保ができるよう、地域の特性に応じた多様な募金方法により多くの協力者の参加促進を図り、配分については、配分委員会で慎重に審議し、配分計画の策定及び配分を実施しました。

なお、「2020年計画」が最終年度となるため、検討会議を開催し、協議の上、令和3年度から取り組む「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」を策定しました。

### (1) 「ひょうご共同募金運動推進2020年計画」の普及と推進

#### ① 共同募金運動強化推進モデル地区事業 モデル地区指定数 4地区

神戸市須磨区共同募金委員会「赤い羽根共同募金オリジナルグッズ募集」

明石市共同募金委員会「つい募金したくなる募金箱の購入

～コロナ禍でも非接触で募金いただけるための取り組み～」

加東市共同募金委員会「Seica あかはねスイーツ」

香美町共同募金委員会「法人募金の維持と増加！あかはねちゃんを

町民の皆さんに知ってもらおう！」

#### ② 共同募金運動強化推進の事例収集・共有

#### ③ 共同募金委員会現況調査 実施時期 1月

#### ④ 「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」の検討、策定

座長 成田副会長、委員5名（配分委員会委員1名、神戸市・明石市・

朝来市・神河町各共同募金委員会事務局長）

第1回 11月24日 6名（オンライン開催）

第2回 2月2日 6名（ ” ” ）

《内容》

(1) 「ひょうご共同募金運動推進2020年計画」の現状と課題

(2) 「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」の策定

### (2) 共同募金運動の推進

#### ① 受配要望のとりまとめ

<要望数・金額>

社会福祉施設 25施設 32,200,000円

県社協 7,960,000円

49市区町社協 390,116,000円

#### ② 兵庫県社会福祉協議会による社会福祉法第119条に基づく意見書の受理

③ 配分計画の立案

<一般募金>

(広域配分)

社会福祉施設 10,920,000 円

社会福祉団体、更生保護団体、  
ボランティア団体・NPO 等 2,000,000 円

県社協 6,460,000 円

(災害等準備金積立金)

災害準備金 19,309,000 円

(本部・共同募金委員会活動費)

本部・共同募金委員会活動費 67,165,000 円

(地域配分)

地区福祉事業費 390,116,000 円

合 計 495,970,000 円

④ 募金部会

7月30日 29名

令和2年度共同募金目標額

<一般募金>

広域目標額 92,338,000 円

地域目標額 400,705,000 円

期間拡大目標額 2,902,000 円 (実施 19 地区)

合 計 495,945,000 円

⑤ 共同募金運動の実施

<一般募金>

実績額 453,347,927 円

目標額に対する達成率 91.4%

⑥ 募金の配分

<一般募金>

(広域配分)

社会福祉施設 10,920,000 円

社会福祉団体、更生保護団体、  
ボランティア団体・NPO 等 2,000,000 円

県社協 6,460,000 円

新型コロナウイルス感染症対策事業  
1,970,000 円

(災害等準備金積立金)

災害準備金 17,740,000 円

(本部・共同募金委員会活動費)

本部活動費 41,747,364 円

共同募金委員会活動費	20,806,000 円
その他	3,616,088 円
(地域配分)	
地区福祉事業費	378,213,941 円
合 計	483,473,393 円

## 2. 配分金の有効活用と監査の実施

配分委員会において、共同募金の配分について審査及び協議を行うとともに、受配団体に対し事務説明等により共同募金配分金の適正な活用を求めました。

また、寄付者の信託に応えるため、受配団体の募金の活用状況や経理処理等について監査部会による監査を実施しました。

### (1) 配分の実施

配分委員会の開催	7月22日 6名
	11月6日 9名
	12月4日 9名 (オンライン開催)
	3月2日 9名 ( " )
「団体・ボランティア・NPO 支援事業」の審査・決定	
	10件 2,050,000 円

### (2) 監査の実施

監査部会の開催	11月2日 (書面開催)
	1月25日 ( " )
受配団体監査	社会福祉協議会 3か所 (オンライン実施)

## 3. 広報・啓発活動の積極的推進

共同募金運動への理解を広げるため、各種広報・啓発資材を作成し活用を図るとともに、情報提供手段として広報誌の他、ホームページ、SNS、「赤い羽根データベースはねっと」等により、募金活動や配分事業に関する情報を公表しました。

また、マスコミや行政、関係団体、配分先団体を通じて啓発・広報に取り組むことにより、住民・寄付者への情報提供と募金活動への参加協力を積極的に呼びかけました。

さらに、幅広い世代に向けてのPRのため、オリジナル資材の作成をはじめ、マスコット「あかはねちゃん」の着ぐるみ・ぬいぐるみ・等身大パネル及びガチャガチャ機械の貸出等の活用を図りました。

(1) 広報啓発活動の協議、関係機関・団体との連携

- 広報部会 5月26日(書面開催)  
2月17日 7名、オブザーバー1名  
(オンライン開催)
- キックオフイベント 10月1日
- ①兵庫県庁西館3階会議室  
厚生労働大臣メッセージ伝達式
- ②兵庫県福祉センター1階101・102ホール  
中央共同募金会会長メッセージ伝達式  
中央共同募金会会長感謝楯の贈呈(神戸ヤクルト販売(株))
- マスコミ、関係機関、受配団体等への広報・啓発の依頼  
受配先団体による配分事業を通じた広報強化  
県内スポーツ団体との協働による「ひょうご赤い羽根サポーター」活動の推進  
「あかはねちゃんサポーター」の募集

(2) 共同募金のスローガン、ロゴマーク、マスコット等の普及と活用

- 「赤い羽根ひょうごスローガン」の活用  
共同募金ロゴマーク、キャッチフレーズの活用  
マスコット「あかはねちゃん」によるPR活動  
着ぐるみ 6件/等身大パネル 5件/ぬいぐるみ 3件  
ガチャガチャ機械の活用  
貸し出し状況 3件  
オリジナルバッジの作成と活用 17,437個  
近畿統一記念バッジ募集・審査・決定

(3) 多様な媒体による広報の実施

- 「赤い羽根シール」やオリジナルポスターの作成  
「共同募金News」の発行  
広報・募金資材の作成、配布と活用  
「赤い羽根データベース『はねっと』」の運用  
ホームページ、SNSの運営  
新聞広告、テレビ・ラジオスポット・大型ビジョンの活用

#### 4. 募金の強化に向けた取組みの積極的展開

募金の強化に向けて、様々な方法による募金活動を実施しました。また、寄付者に対して感謝の意を表するため、共同募金運動に貢献があった個人・団体等へ、各種顕彰を行いました。

(1) 多様な募金活動の実施

法人・職域募金の推進

スーパー、ドラッグストア、ホームセンター、調剤薬局等の本社・支社  
訪問依頼

募金百貨店プロジェクトの推進

実施店舗総数 165 店舗／22 市区町・県本部

募金付自動販売機の設置促進

設置総数 53 台／26 市区町

期間拡大募金の実施

実施地区：9 区 9 市 1 町

テーマ型募金：4 区 3 市

学童・生徒等への福祉学習活動の推進

インターネット募金の普及、活用

新たな募金手法（遺贈、クレジットカード等）の研究

(2) 寄付に対するお礼と顕彰事業の実施

顕彰審査委員会 7 月 13 日 委員 5 名

会長表彰 個人 108 名、団体 25 団体

会長感謝 個人 154 名、団体 53 団体、募金百貨店実施団体 41 店舗

篤志者 個人 41 名、団体 8 団体

5. 市区町共同募金委員会の支援と県共同募金会の運営

組織運営のため、理事会・評議員会等及び部会・委員会を開催しました。また、共同募金運動の推進機関である市区町共同募金委員会の組織強化を図るため、市区町共同募金委員会の組織整備を支援しました。

(1) 市区町共同募金委員会の支援

市区町共同募金委員会事務局長会議 8 月 28 日 48 名、2 月 26 日 47 名  
(オンライン)

市区町共同募金委員会担当者会議 7 月 7 日～9 日 59 名(オンライン)

市区町共同募金委員会新会計基準移行と会計システム導入・活用支援  
システム導入 48 地区(累計)

共同募金事務費の交付 6 月 12,517,000 円、8 月 8,795,000 円

(2) 理事会・評議員会・正副会長会議・監事監査等の開催

第 244 回理事会 (みなし決議) 議決日 6 月 12 日

1. 令和元年度 共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和元年度 事業報告について
3. 令和元年度 決算（計算書類及び財産目録）について
4. 社会福祉法人兵庫県共同募金会 配分委員会規程の一部改正について
5. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
6. 参与の委嘱について
7. 定時評議員会（第202回評議員会）の開催について

第245回理事会（みなし決議） 議決日 8月12日

1. 令和2年度 共同募金目標額について
2. 令和2年度 共同募金配分大綱について
3. 令和2年度 共同募金運動実施要綱について
4. 社会福祉法人兵庫県共同募金会定款の一部改正について
5. 社会福祉法人兵庫県共同募金会評議員・理事・監事選任規程の一部改正について
6. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
7. 顧問の委嘱について
8. 第203回評議員会の開催について

第246回理事会（みなし決議） 議決日 10月1日

1. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
2. 退任に伴う配分委員会委員の選任について
3. 第204回評議員会の開催について

第247回理事会（みなし決議） 議決日 3月18日

1. 令和2年度 共同募金の結果及び配分について
2. 令和2年度 補正予算について
3. 令和3年度 事業計画について
4. 令和3年度 予算について
5. 社会福祉法人兵庫県共同募金会職員給与規程の一部改正について
6. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
7. 役員等賠償責任保険契約の締結について
8. 第205回評議員会の開催について

定時評議員会（第 202 回評議員会）（みなし決議） 議決日 6 月 25 日

1. 令和元年度 共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和元年度 事業報告について
3. 令和元年度 決算（計算書類及び財産目録）について
4. 社会福祉法人兵庫県共同募金会配分委員会規程の一部改正について

第 203 回評議員会（みなし決議） 議決日 8 月 26 日

1. 令和 2 年度 共同募金目標額について
2. 令和 2 年度 共同募金配分大綱について
3. 令和 2 年度 共同募金運動実施要綱について
4. 社会福祉法人兵庫県共同募金会定款の一部改正について

第 204 回評議員会（みなし決議） 議決日 10 月 16 日

1. 退任に伴う配分委員会委員の選任について

第 205 回評議員会（みなし決議） 議決日 3 月 30 日

1. 令和 2 年度 共同募金の結果及び配分について
2. 令和 2 年度 補正予算について
3. 令和 3 年度 事業計画について
4. 令和 3 年度 予算について

正副会長会議 4 月 10 日、5 月 29 日、7 月 13 日、9 月 14 日、  
11 月 9 日、12 月 14 日、1 月 7 日、2 月 8 日、3 月 8 日

#### 監事監査

定期会計監査	4 月 17 日	1 名、	4 月 30 日	1 名
決算会計監査	5 月 20 日	1 名		
決算事業監査	5 月 20 日	2 名（書面開催）		
定期事業監査	11 月 11 日	2 名（ ” ）		
評議員選任・解任委員会	6 月 15 日議決	選任	3 名	
	8 月 14 日議決	選任	3 名	
	10 月 7 日議決	選任	2 名	
	3 月 23 日議決	選任	1 名	

## 6. 緊急災害に対する支援

「災害支援制度運営要綱」に基づき、国内の大規模災害時の活動資金支援として準備金の積み立てを行い、7 月豪雨災害に係る災害等準備金の拠出を行いました。また、国内自然災害の発生による義援金の募集を、全国の都道府県共同募金会と



ともに広報周知を図りました。さらに、「緊急配分資金運用規程」に基づき、県内で発生した災害の被災者に対し、見舞金を交付しました。

(1) 災害等準備金の積立及び支援

①積立

令和2年度募金による積立額を17,740,000円としました。

②支援

令和2年度に発生した下記の災害支援に対し、拠出をしました。

- ・7月豪雨災害に係る災害等準備金の拠出 3,840,000円  
(中央共同募金会を經由し、各ボランティアセンターでの災害対応運営経費として活用)

【収支状況】

〔収入〕	令和元年度末積立金額	56,650,000円
	令和2年度積立額	17,740,000円
	収入合計	74,390,000円
〔支出〕	令和2年度拠出額	3,840,000円 (7月豪雨災害)
	平成29年度積立金取崩額	15,360,000円
	支出合計	19,200,000円
〔当期末資金残高〕		55,190,000円
	(内訳) 平成30年度	19,000,000円
	令和元年度	18,450,000円
	令和2年度	17,740,000円

(2) 県内で発生した災害への対応

①緊急配分資金による対応

- ・見舞金の交付

〔火災〕

尼崎市 160,000円 (16世帯)

【収支状況】

〔前期末資金残高〕	24,906,787円
〔支出〕	
見舞金	160,000円
〔当期末資金残高〕	24,746,787円

(3) 県外で発生した災害への対応

県外で発生した災害の義援金・支援金募集について広報周知を図りました。ま

た、義援金の領収書発行希望者への発行手続きを行いました。

※（ ）内は募集期間

- (1) 熊本県「平成 28 年熊本地震義援金」 (H28/4/25～R3/3/31)
- (2) 中央共募「平成 30 年 7 月豪雨災害義援金」 (H30/7/10～R3/6/30)
- (3) 岡山県「平成 30 年 7 月豪雨岡山県災害義援金」 (H30/7/10～R3/6/30)
- (4) 広島県「平成 30 年 7 月広島県豪雨災害義援金」 (H30/7/12～R3/6/30)
- (5) 愛媛県「愛媛県豪雨災害義援金」 (H30/7/11～R3/6/30)
- (6) 中央共募「令和元年台風第 19 号災害義援金」 (R1/10/16～R3/3/31)
- (7) 宮城県「令和元年台風第 19 号災害義援金」 (R1/10/18～R3/3/31)
- (8) 福島県「令和元年福島県台風第 19 号災害義援金」 (R1/10/21～R3/3/31)
- (9) 長野県「令和元年台風第 19 号災害義援金」 (R1/10/16～R3/3/31)
- (10) 佐賀県「令和元年 8 月佐賀県豪雨災害義援金」 (R1/9/2～R2/8/31)
- (11) 中央共募「令和 2 年 7 月豪雨災害義援金」 (R2/7/13～R3/3/31)
- (12) 熊本県「熊本南豪雨義援金」 (R2/7/8～R4/3/31)
- (13) 福岡県「令和 2 年 7 月福岡県豪雨災害義援金」 (R2/7/10～R3/3/31)
- (14) 大分県「令和 2 年 7 月大分県豪雨災害義援金」 (R2/7/13～R2/12/28)
- (15) 鹿児島県「令和 2 年 7 月豪雨災害義援金」 (R2/7/13～R2/12/28)
- (16) 岐阜県「令和 2 年 7 月岐阜県豪雨災害義援金」 (R2/7/14～R2/9/30)
- (17) 佐賀県「令和 2 年 7 月佐賀県豪雨災害義援金」 (R2/7/21～R2/12/28)
- (18) 島根県「令和 2 年 7 月島根県豪雨災害義援金」 (R2/7/22～R2/9/30)
- (19) 長野県「令和 2 年 7 月長野県豪雨災害義援金」 (R2/7/27～R2/9/30)
- (20) 山形県「令和 2 年 7 月山形県豪雨災害義援金」 (R2/8/5～R2/12/28)
- (21) 福島県「令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金」 (R3/2/24～R3/5/31)

## 7. 歳末たすけあい運動の展開

地域歳末たすけあい運動について「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、地域福祉の推進を目的として市区町共同募金委員会が中心となり募金運動を進めました。配分については、プライバシーの保護や個人の尊厳を尊重し、援助を必要とする人々を支援する活動や事業を中心に配分するよう市区町社会福祉協議会と調整を行いました。

また、NHK歳末たすけあい運動を展開し、県域・広域で社会的な援助を必要とする人々を支援している団体の事業費や、障害福祉サービス事業所等の備品整備費等に配分しました。

### (1) 地域歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 130,849,000 円

<募金実績額> 122,547,957 円

目標額に対する達成率 93.7%

<配分内訳>

地域福祉・在宅サービス事業費	66,473,273 円
在宅・施設利用者への贈呈事業費	27,587,225 円
歳末事務費	5,772,422 円
翌年度繰越金	50,919,095 円
地区福祉事業配分金充当	19,318,094 円
合 計	170,070,109 円

(前年度繰越金 47,522,152 円を繰り入れ配分)

(2) NHK歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 17,000,000 円

<募金実績額> 19,058,711 円

募金取扱機関 中央共同募金会、兵庫県共同募金会、  
NHK 神戸放送局、JA 県信連、JF 県漁連他  
目標額に対する達成率 112.1%

(3) NHK歳末たすけあいの受配要望のとりまとめ及び審査、配分

<1次配分>

1. 社会福祉関係団体	19 件	2,740,000 円
2. 社会福祉施設連盟等	6 件	960,000 円
3. 更生保護施設	1 件	200,000 円

<2次配分>

障害福祉サービス事業所  
地域活動支援センター  
放課後等デイサービス  
児童発達支援センター

小規模作業所 45 件 11,120,000 円

<経費（中央共募・県共募）> 801,849 円

<翌年度繰越金> 7,621,853 円

合 計 23,443,702 円

8. 各種助成金の推薦業務等

(1) 前田清栄老人福祉基金（公益信託）の申請受付・配分調整・推薦業務

公益信託前田清栄老人福祉基金配分金の申請とりまとめと推薦

推薦 10 件 9,640,000 円

(2) 神戸ヤクルト販売株式会社寄付金の配分調整・交付業務

神戸ヤクルト販売株式会社歳末たすけあい運動協賛寄付金の配分調整  
寄付金受け入れ 12月14日 4施設 1,309,603円

(3) その他助成金、寄付金の配分調整・推薦業務

車両競技公益資金記念財団によるボランティア活動推進事業の  
申請とりまとめと推薦

申請 3件 1,741,400円、決定 2件 1,262,800円

申請 1件 125,000円、決定 1件 125,000円

プロゴルフ競技会「Hitachi 3 Tours Championship 2019」寄付金助成事業

寄付金受け入れ 7月31日 1施設 200,000円

三菱電機 SOCIO-ROOTS 基金寄付金の受け入れと助成金贈呈

寄付金受け入れ 3月12日 7団体 3,705,890円

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に困難を抱える子どもと家族  
の支援活動への助成

1回目 10件 1,490,000円

2回目 12件 1,650,000円

3回目 6件 1,910,000円

(5) 赤い羽根福祉基金 アサヒ飲料「こどもたちの明るい未来づくり基金」  
協働プログラム

2件 100,000円

現物給付（三ツ矢サイダー 4ケース、  
カルピスウォーター 6ケース）

(6) 株式会社ダイヘン「2020年度 地域の子どもの福祉のための助成事業」

神戸市内の施設・団体等 29件 13,500,000円

9. その他法人運営について

社会福祉法人現況報告書の提出

定款変更認可 令和2年11月20日